

令和元年度第4回次世代育成支援対策千葉県協議会 議事録要旨

1. 開催日時 令和2年1月14日（火）
午後1時30分～午後3時
2. 開催場所 ホテルプラザ菜の花4階 楨
3. 出席者 別紙のとおり（傍聴者あり）
4. 関係課 総務部学事課
総合企画部男女共同参画課
健康福祉部健康福祉政策課、健康福祉指導課、健康づくり支援課、
児童家庭課、子育て支援課、障害福祉事業課、医療整備課
環境生活部県民生活・文化課
商工労働部雇用労働課
教育庁教育政策課、生涯学習課、学習指導課、児童生徒課、
特別支援教育課、体育課

5. 議 事

（1）開 会

（2）あいさつ 米本子育て支援課長

（3）出席者紹介

（4）議 題

①次期計画案について

②その他

※協議会設置要綱第5条第1項の規定により、鈴木会長が進行。

【要 旨】

①次期計画案について

- ・説明者 山田副課長（資料1～資料2により説明）
- ・御意見（概要）及び質疑応答（概要）は、以下のとおり。

[圓藤構成員]

計画案26頁の目標の設定について、「高等学校の不登校児童生徒の減少」が目標となっているが、県内の小・中学校における不登校児童生徒が増加しているため、そちらを目標とした方がいいのではないかと懸念を述べた。

保育に関わる部分については、保育所の保育士不足の現状を踏まえ、処遇改善や環境整備等について盛り込まれているため、計画全体について賛同する。

母親がひとりで子育てをしている状況をどのように解決していくかが計画の目標

の中にあると思う。年金制度が65歳から70歳になろうとしている中で、70歳代になっても働きたいという高齢者が増えてきている。かつてはおじいさん、おばあさんは子育てに関して非常に協力してこられたが、孫の面倒を見なくては行けないという年代になってきた時に自分も働かないといけないうので、子育てに協力できないという状況がある。子育ては、母親一人ではできないということを前提として、社会全体でおじいさん、おばあさんの役割をどのように制度として担っていくのかという視点を非常に大事にしていきたい。

[宮川構成員]

小さい市町村の場合、財政面が厳しい。放課後児童クラブで働く人も時給が安く、成り手がいない。募集をかけているが、支援員の成り手がおらず、人材不足となっている。

[石川構成員]

障害者の福祉作業所、事業所には、募集をしても職員がなかなか集まらない。このような状況を計画に盛り込み、県の補助についても盛り込んでほしい。

計画案89頁の障害のある子どもへの支援について、取り組み項目の数値化をお願いしたい。

保育所の待機児童、学童保育待機児童の解消を目指しますという目標だが、事例も含めて実践的な対策を取り入れるということが大事だと思う。

[庄司構成員]

小中の校長会で手を取り合って、推進に当たっていききたい。計画を実践・推進できるように、私たち校長会も頑張っていきたい。

[奥山構成員]

成人年齢が18歳となる。高校に入学するとすぐに主権者教育が始まる。地域との関わり、関係機関との関わり等を深めながら、共に協力して子どもを育てていければと思っている。

しっかりと社会に希望をもって社会人として飛び立てるように、生徒を預かり育てているので、本プランについても期待し、皆さんと共に推進していきたい。子ども達は、高校卒業後、社会人になる者、進学する者といろいろだが、すぐに子育てという立場になるので、この計画が実践できるように皆さんからもご指導いただきたい。

[金子構成員]

幼稚園は教育だけでなく、子育て支援にも力を入れているので、この計画でそれをきちんと示していただきありがたい。

計画案62頁の関連データの「注：自宅等には認定こども園の教育ニーズの児童が含まれています。」の点について、もう少し分かりやすい表現にしてほしい。

[子育て支援課]

もう少し分かりやすく表記したいと思う。

[金子構成員]

計画案138頁について、小規模保育事業所は0歳～2歳までの子どもが対象で、3歳以降は保育所もしくは幼稚園へ移行が必要となるので、小規模保育事業所へ入所した場合、3歳以降に預かってくれる施設の確保が必要となる。保育所は3歳からは入りにくいのが現状。3歳を受け入れる保育所や子育て支援をしている幼稚園を増やすような支援をする等、もう少し強い表現で記載してほしいと思う。

[子育て支援課]

検討する。

[西牟田構成員]

計画は大変良くできている。計画を実施する際は、事業を実施する人材をどのように育てていくか、また、支援が必要な人を施策に結び付けていける人材をどのように育成していくかが大事だと思う。

[松田構成員]

歯科に関連した点として、むし歯が減ってきている点やむし歯だけでなく口腔機能が十分に発達保持されるようにする点、飲み込む力を養う点等の言葉が入っている。むし歯予防だけでは、十分な口の健康を保てないので、広範囲に捉えていただいているのは非常に良い。

計画案73頁の児童虐待防止対策の充実の現状と課題の部分について、「関係機関と緊密に連携し、」に医療機関を入れていただければと思う。今年度から歯科医師会では、児童相談所の児童の歯科検診を行い、口腔崩壊によるネグレクト等の早期発見に努めているので、その点も含め医療機関との連携も必要ではないかと感じている。

[児童家庭課]

医療機関に御協力いただきながら、県でも虐待防止に取り組んでいるので、積極的に御意見を取り入れたいと思う。

[福留構成員]

子どもの読書について、市町村ではブックスタートの事業を行っているが、

もっと具体的なことを記載できないか。また、子どもの遊び場について、もう少し具体的な項目出しができないかと思う。

[小山構成員]

事前に意見を出させていただいた。どう取り扱うかは、事務局に一任したい。

また、待機児童の解消が話題になっているが、策定後、計画については、各市町村において取り組んでいくのか、その辺を教えてほしい。

[子育て支援課]

地域によって待機児童の状況や保育士の数等が異なる中、市町村はどのような形で子育ての施策を進めていくのかを、子ども・子育て支援事業支援計画で定めることと法律上定められている。県は、市町村を支援するという形で子ども・子育て支援事業支援計画を定めることとなっている。次期計画は、子ども・子育て支援事業支援計画と行動計画の両方の性格を持ち、各市町村の子ども・子育て支援事業支援計画を補う県の計画という位置づけになっている。

[黒坂構成員]

本計画は、子育て支援がテーマだが、もっと大事なものは、親の教育ではないかと思う。子ども達が立派になるためには、家庭教育と学校教育が必要ではないか。親は、学問的ではなく精神的な面での勉強をしてほしい。

[工藤構成員]

自社が事務局を務めている公益財団法人で、新規枠組みで子どもの育ちを応援する助成事業を始めた。子どもシェルターやフリースクール、子ども食堂等の運営団体を取材したが、何れの運営団体も運営資金の確保に苦しみながら、虐待や貧困、不登校等の理由で、団体の活動を利用している子ども達を支えるのに、社会的使命感を持って取り組んでいた。今回の計画がそういった団体や子ども達により目配りされた内容となって、現状の改善につながることを期待している。

[吉永構成員]

計画案46頁のワーク・ライフ・バランスは、企業を巻き込んでいくことが大事である。ワーク・ライフ・バランスにしっかり取り組まない企業は、人の確保が難しい時代になっていると思っている。労働者、企業自身の為にも、企業を巻き込んでワーク・ライフ・バランスが進むように施策を進めていてもらいたい。

計画案49頁について、育児は夫婦ともに主体的に取り組むべきであり、その点留意された記載となっている計画だと思う。しかし、現状として、女性が家事や育児の負担を多く担っているのが、その実態に留意しながら、今の役割分担を変えていくような施策を打っていただきたい。

[三沢構成員]

計画がどのように地域に浸透していくか、楽しみでもあり、課題ではないかと思っている。学校と地域が一緒になって行うのが一番良いと思っているので、計画の地域への浸透の仕方を考えていただきたい。

[渥美構成員]

不妊治療にお金が掛かりすぎる。また、児童虐待については、面前DVが増えてきている。DVの被害者対策は様々あるが、加害者対策は、まだまだ手薄だと思う。

里親委託率が非常に低い。せめて、50%を目標にして、里親制度を普及させてほしい。

子どもの読書活動を推進してほしい。教養を深めさせるような施策をしてほしい。

[鈴木会長]

千葉県社会福祉協議会が県からの委託を受けて、低所得者世帯等の子ども達が高校・大学に進学する時に教育支援費として、貸し付けている事業があるので、県の施策に追加してほしい。

県内でも各地域に子ども食堂がどんどん立ち上がってきている。低所得者世帯・貧困世帯が多く存在する中で、民間のボランティア団体が子ども食堂を立ち上げ、多くの子ども達が集まってきているという実態がある。現在はボランティアでやっているが、場所の問題や資材、運営スタッフ、運営資金等の問題を抱えている。需要があるので、子ども食堂が円滑に進むように、県としても何らかの支援をしてほしい。子ども食堂に来ているのは子ども達だけでなく、地域の高齢者の方も多く集まっており、地域の交流の場にもなっていると思う。地域共生社会のためにもこの施策は必要だと思う。

[圓藤構成員]

計画案40頁について、私学助成の幼稚園、新制度に加入した幼稚園、四形態の認定こども園・保育所、小規模保育所・企業主導型保育所等の色々な保育形態がある中で、制度の問題ではあるが、色々な面で不公平感がある。どの施設を利用しても、公平になるように県として取り計らっていただきたい。国の定めた制度でもあり、まだまだ不公平感のある制度なので、是非県の方で調整して、出来るだけ不公平感の無い制度に近づけてもらいたい。

[子育て支援課]

いただいた御意見を元に、反映できる部分を修正の上、パブリックコメントを実施することとしたい。

②その他

次回の協議会開催について

(5) 閉会